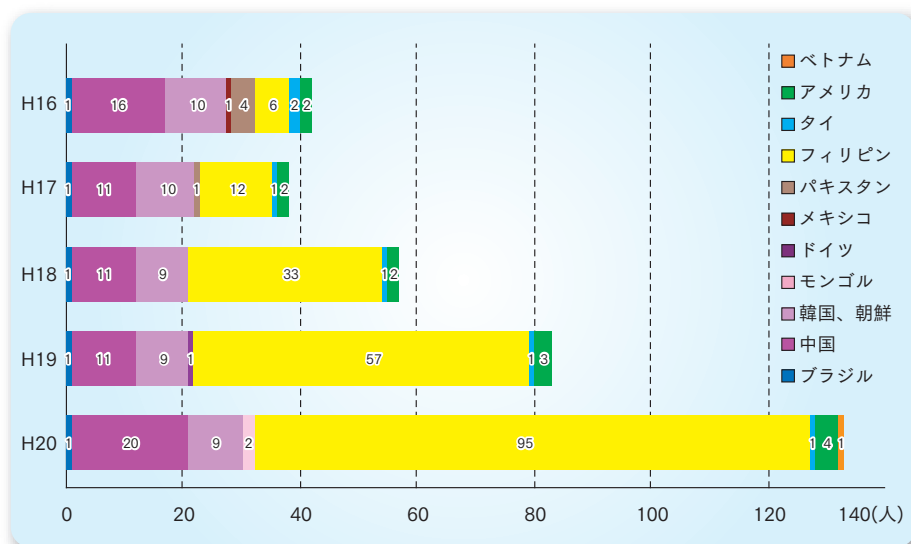


第2節 国際交流の推進

1 現況と課題

- (1) 企業の海外進出や海外旅行、インターネットなどの普及により海外情報は身近になり、経済活動から町民生活においても欠かせないものとなってきました。地域、まちづくりにおいても、国際感覚を持った人材の育成は重要な要素となっています。
- (2) 本町では、明治末から大正初めにかけて外国人宣教師や神父・司祭が居住したり、カトリック信者をはじめ多くの町民が新天地を求めてブラジルなどの南米や北米に移住したりするなど、海外とは深い歴史があります。
- (3) 福岡県は古くから大陸との交流が盛んに進められ、今日ではアジア諸国の玄関口として人的、物的な交流が活発化しており、福岡県のほぼ中央部に位置する本町は歴史や特性に合った国際交流活動を推進していく必要があります。
- (4) 近年では、外国人就労者の増加に伴い、外国人との身近な交流を通して諸外国の文化や考え方を学ぶと同時に、日本の伝統文化・地域の良さを再認識できる機会が増えています。そこで、町民の国際意識の啓発と外国人に配慮した環境づくりを進めることも必要となります。

国籍別人員



資料：住民課

2 基本方針

国際感覚を持ったより視野の広い人材の育成を図り、国際化の時代に対応したまちづくりを推進するために交流活動の活性化を図ります。

3 施策の内容

(1) 国際交流推進体制づくり

- ①国際交流を効果的に推進するため、組織体制づくりに努め、国際的な視野を持った人材育成のため海外研修制度などの充実を図ります。
- ②次代を担う小中学生の語学力向上や国際感覚を身に付けるため、外国語指導助手(ALT)による外国語習得の充実を図ります。

(2) 国際交流活動の推進

- ①文化、スポーツ、教育、経済などあらゆる分野での国際交流事業を積極的に推進します。
- ②町内に居住する外国人との日常的な交流を促進するなど、町民主体の草の根交流を推進します。
- ③町内で開催されるまつりやイベント、講演会などを通じて町内居住の外国人と交流を重ね、外国の文化や食文化を実体験できる機会を創出します。
- ④公共施設や案内看板、ホームページへの外国語併記を検討します。

4 成果指標

内 容	現 状 (平成20年度)	中間年次 (平成23年度)	目 標 (平成30年度)
外国語会話教室数 (受講者数)	1 (19)	2 (25)	3 (30)

5 計画事業

- ①外国語指導助手の配置
- ②自治体国際協力促進事業
- ③外国語サークルの充実
- ④大刀洗町ドリームまつりでの国際交流の推進

